

■シリーズ■ 中学校武道

授業の充実に向けて 132

つまずきをどう克服したか 25 (総合的な学習の時間の選択コースに組み入れた弓道授業)

岐阜県恵那市立岩邑中学校教諭 有安 志織

今回の「中学校武道授業の充実に向けて」では、岐阜県恵那市立岩邑中学校における弓道授業の取組の様子を紹介します。

本校に赴任して1年目に、どのように取り組んでいくのか分からないうち探りの中で、地域の外部講師の方と共に弓道授業に取り組みました。今までの本校での取組を引き継ぎ、平成31年2月に指導者研修会に参加して学んだことを、今年度の指導に生かしています。まだまだ勉強不足で指導や準備が不十分ではありますが、「ご紹介させていただきます」。

1 学校の特徴

本校は現在、在籍生徒数1年生37名、2年生58名、3年生32名、計127名の小規模校です。校区恵那市岩村町は、豊かな自然の中に歴史ある文化や伝統が息づく地域です。ここを生活舞台としている本校の生徒達は、ここに伝わる資源や営みを通して具体的に「故きを温める」ことができる、得難い学習環境の中で育っています。

一方、社会の急激な変化の中で、この岩村町にも高齢化・少子化の波が押し寄せ、これまで営々と引き継がれてきた地域生活や伝統的な文化・習慣の維持や発展が大きな課題となっています。ふるさと教育の一環として、さまざまな活動に積極的に参加し、自然や人と触れ合う中で「新しきを知り」、自分を見つめ直し、ふるさととの発展を願って行動できる生徒の育成をすすめています。本校の特色として展開し、20年間総合的な学習の時間をすすめてきています。

また、総合的な学習の時間における「ふるさと教育」を「温故知新」学習と名付けています。「温故知新」学習では、「自ら課題をもち、追究し、表現していく能力や態度を育てる(主体性)」「ふるさとを見直し、地域を大切にする心や態度を育てる(郷土愛・社会性)」の2つをねらいとしています。

内容を改善し、外部指導者の導入を図りました。平成18年度には総合的な学習の時間「温故知新」の35時間を全校生徒189人の縦割りで、コース別の学習を実践しました。①雅楽、②女城主太鼓、③書茶華道、④絵手紙、⑤郷土出身の教育者で歌人である下田歌子先生の研究、⑥スケート、⑦弓道、⑧自然、⑨岩村城下案内(英語版)、⑩郷土料理の10コースを開設し、ここではじめて弓道コースが創設されました。

この頃になると地域社会からも、学校内公会や地域行事への参加など、中学生の学習を認知していただくようになりました。各コース1〜2名、計15名の地域指導者の協力を得て、特色ある学校「ふるさと教育」の実践の発展期に入りました。

平成28年度から平成30年度にかけて、生徒の実態に応じて学習コースを見直し、学習内容の改善を図り、現在に至っています。現在は、①雅楽、②郷土料理、③染め型紙、④絵手紙、⑤スケート、⑥弓道、⑦自然、⑧岩村城女太鼓、

⑨歴史(獅子舞)の9コース別の学習をすすめる、充実期となっています。

3 指導計画

本校では、4月に第1希望から第5希望までの希望調査を行い、コース決めを行っています。コースの中には募集人数や条件があり、昨年度やっていた人を優先したり、いなかった人を優先したりと様々なので、3年生を優先的に、昨年度活動したコースも加味して決定します。

5月から翌年の1月まで、2週間に1回、「温故知新」の時間が確保されており、計14回、年間27時間程度の授業数となっています。午後の2時間を1回として行い、12回目は講師の方へお礼の手紙を書き、13回目は発表会の準備とリハーサルをし、14回目は全校で1年間学んだことを発表する「温故知新発表会」を行っています。

2 弓道授業の導入

平成12年度から、総合的な学習の時間「知新の時間」として7コース(歴史、文学、スポーツ、自然、書道、茶道、美術)を開設しました。学年の枠を取り払う異学年交流活動(縦割り活動)で、教員が主導して年間35時間の授業を行い、当初は1年生を基盤に学習をすすめる、平成14年度からは、全学年選択制の縦割りで取り組むようになりました。

その後、ふるさと学習の目的や

4 弓道授業の実際の様子

本校には弓道場や弓具がありませんが、地域指導者の方が最小限の用具を用意し、指導過程の中で高等学校にある弓道場を利用して活動しています。

1学期のうちは、体育館内の格技室で授業を行い、基本姿勢や弓道の一連の動作を表わす「射法八節」など基礎的なことを学びます。弓道には専門用語がたくさん



ひも弓を使った射法八節の型の練習



講師の方による演武を見学



温故知新発表会でのひも弓を使った射法八節の型



温故知新発表会で日置流印西派の座射でつくばい射法を披露

を挙げてみます。

「2年生の頃から弓道コースを選択し、今日まで練習をしてきました。2年生の時ほろくに的にも届かず、大きく外れていました。でも講師の先生方に教えてもらい少しずつですが、型ができてきているのも当たるようになりました。初めて当たったときはとてもうれしく感じました」

「弓道は自分にとってただ楽しい

ものではありませんでした。弓道は集中力がとても大切で、的を射るその瞬間まで集中力を欠くことはできません。そのため、集中力が無い自分にはとても難しいものでした。でも、回数を重ねていくたびに集中力が続くようになって射る瞬間まで自分でもわかるくらい集中できていて、それがテストや野球にもいかすことができるようになっていきました」

「2年間、ただただ練習を繰り返してきたのではなく、自分が取り組む姿を見せることで来年弓道コースを選ぶ人を増やしたいと思いながら取り組み、今までやってきたことを発表会で全て示すことができてよかったです」

「射ることばかりにこだわって射法八節をおろそかにしていました。が、講師の方が、『当たるかどうかよりも正しい姿勢で射ることが

できるかが大事だ』と教えてくださり、射法八節を意識したら、的を射抜くことができました。しっかりと弓道を通して学んだ礼儀、集中力、基礎の大切さを意識して生活していきたいです」

◇

技能的なことや楽しい、うれしいといった感情的なことだけでなく、本来の武道の精神を伝えられたのではないかと感じています。



恵那南高校の弓道場を掃除する



あり、講師の方が指導をしてくださっても、言葉の意味が伝わらないことが多々ありました。射法八節の解説とともに言葉の意味も教えながら指導を行いました。

初めは歩き方や歩行中の回り方の練習を行いました。膝を曲げないように、なるべく足の裏が見えないように、床をすべるように滑らかに歩くことができるようになるまで格技室の中を回り続けました。その後、ひも弓を使って射法八節の練習を行いました。練習中には射法八節を中心に、射るまでの細かな動作（物見や面戻す）のひとつひとつを声に出して確認をしながら行いました。また、「会」から「離れ」の間が短くなってしまう生徒が多々いたので、会から5秒数えるようにさせたり、「残心」のあとの間を意識させたりするよう指導しました。

3回目からは実際に弓具を使って練習をしました。本校には弓具や弓道場がありません。格技室に畳を立てかけ、的の土台となる安土を作って行うこととしました。弓具は講師の方の私物をお借りし

て、練習を行いました。弓の数も限られており、弓の重さや矢の長さも生徒にあったものがそろっていないわけではないですが、一番自分に適している道具を自分で見つけ、順番に練習を行いました。3カ所に分かれて練習をしました。が、各場所に講師の方や教員がついて指導するなど、安全指導は徹底して行いました。

2学期以降は生徒の習熟の様子を見ながら講師の方と相談して、弓道場で射る練習をしました。本校から歩いて15分のところにある恵那南高等学校の弓道場をお借りしました。恵那南高等学校には新しい弓道場ができたため、使っていない弓道場をお借りして練習をしました。初めに、弓道場の掃除を行いました。1年間使われていない場所なので、これから借りる感謝の気持ちを込めて隅々まで丁寧にほうきで掃いたり、水拭きしたりしました。

その後、講師の方に正規の距離から演武をしていただきました。ほとんどの生徒が初めて間近で弓道を見学し、緊張感のある雰囲気

や所作の洗練された動き、矢の飛ぶ速さに驚きと興奮する姿がありました。生徒たちは、12 mの位置からの的を射る練習を行い、弓道場で行う最終日には、28 mの所からの的を射る体験をしました。届かない生徒もいましたが、弓道場で正規の場所からの的を射る機会がないので、貴重な体験をすることができました。

「温故知新発表会」では、体育館のステージ上で、ひも弓を使った射法八節の型を全員で披露しました。次に、矢を一人一本持つて行射を行いました。2年生の時から経験している3年生は二本行射を行い、一本目は連盟の規定通りに行い、二本目は日置流印西派の座射でつくばい射法を行いました。

5 生徒の感想とこれからの課題

各授業のまとめとして、生徒達は学習カードに感想を記入しています。その感想の中からいくつか

< 参考資料 >

2019年度

「温故知新」学習カード

コース名		講師名	
年	組	番	名前
回	月日	学習内容	学習のふり返し
1	5 / 10		
2	5 / 24		
3	6 / 7		
4	6 / 21		
5	9 / 27		
6	10 / 11		
7	11 / 1		
8	11 / 22		

▲生徒が毎回の学習のふり返しなどを記入する学習カード

▶各授業で取り組む計画を事前に書き込む計画表

回	月日	学習内容	学習のふり返し
9	12 / 6		
10	12 / 13		
11	1 / 10		
12	1 / 20		
13	1 / 24		
14	1 / 25		
15			

2019年度

「温故知新」計画表

コース名		講師名	
年	組	番	名前

回	月日	計画内容
1	5 / 10	
2	5 / 24	
3	6 / 7	
4	6 / 21	
5	9 / 27	
6	10 / 11	
7	11 / 1	
8	11 / 22	
9	12 / 6	
10	12 / 13	
11	1 / 10	
12	1 / 20	
13	1 / 24	
14	1 / 25	